

<p>○神社に到着する小芝さん</p> <p>○初詣する小芝さんファミリー</p> <p>○小芝さんの家</p> <p>○おばあちゃんが話しながらさんま寿司を作る</p> <p>○作業するおばあちゃん</p> <p>○さんま寿司商品カット</p> <p>○小芝家の楽しい食卓</p> <p>○語り合う親戚たち</p> <p>○その卓上にはかつお梅</p> <p>○食卓を囲むロング</p> <p>○小芝家の大ロング</p> <p>○剪定作業をする小芝さん</p>		<p>99 お正月。 小芝さんのお宅にも伝統の味がある と聞き、再びお邪魔しました。</p> <p>100 まずは、家族みんなで初詣。 今年一年の家族の無事をお祈りします。</p> <p>101 そして、自宅に戻ったおばあちゃんが 作ってくれたのが 和歌山南紀名物「さんま^{ずし}寿司」</p> <p>☆音生かし 「おめでたいことがあるとこのさんま寿司。お正月 やお祭りの時は必ず食べさせてもらっていました。」</p> <p>102 紀州沖で採れたさんまを、半日ほど 塩漬けにし、酢飯にのせたこのお寿司。 一口食べれば、さんまの濃厚な脂と 酢飯の爽やかさが、口の中に広がります。</p> <p>103 親戚一同集まって、お正月のひと時を 笑顔で過ごす。 小さな幸せの食卓の上には、今日も かつお梅が置かれています。</p> <p>104 小芝さんにとって、梅は家族の一員の ようなものなかもしれません。</p> <p>105 翌日。 小芝さんの姿は、もう梅の畑に ありました。</p>
---	--	---

○剪定作業をしながら話す小芝さん

○剪定作業を続ける小芝さん
○小さな梅のつぼみ

○エンディングイメージ
○熊野の祭りを集める

○作業風景いくつつか

○出演してくれた人々のコメントを短く

○様々な出演者シーンをフラッシュバックする

○円月堂の夕日

☆ 音生かしゝ
「梅の剪定作業です。梅のいらぬ枝を切って、新しい芽をふかす。梅は切るのが大事と昔の人は言っているんです。梅は剪定するのが作業的には大事ですね」

106 そう言って、せんてい剪定を続ける小芝さん。
今年もまた小芝さんの畑から、沢山の梅がとれることでしょう。

107 四季折々に、熊野の歴史に彩られた和歌山県。

そこには、伝統を受け継ぎ守り抜こうとする人々の姿がありました。

☆ 音生かしゝ

108 そこに暮らす人々が紡ぎ出す歴史の糸。それが文化。

109 和歌山県には、様々な伝統があり、文化があり、そして人々の織りなす日常があります。

110 今までも、そして、これからも。ずっとずっと繋がっていくのです。